



美馬ロータリークラブ週報

2012年3月6日 火曜日 Vol.282

例会出席者 19名(会員総数32名) 出席率 87.5 %
メーキャップ 3/3青木 博美君(1回)、森 廣一君(6回)、廣川 公利君(1回)、戸島 健治君(1回)
ゲスト なし。
会長挨拶 藤野 章二会長

あの未曾有の大震災から5日後には早くも一年を迎えます。遅々として進まぬ復興状況、象徴的な瓦礫の山に被災地の人々のいらだちと苦悩、悲しみがしのばれ行政の無為無策ぶりに今なお腹立たしい思いを禁じ得ません。最近の新聞からの抜粋ですが、元老中曾根元首相は「最近ではサラリーマン的な首相が多い。非常事態への覚悟にも欠けている。首相を目指す政治家は戦争、天災の危機にどう対処するか？決意と手法を頭に置いて日頃から自己鍛錬しなくてはならないが、菅前首相は鍛錬が十分出来ておらなかった所以对処に失敗した」と述べています。さらに「首相に必要な条件とは国を発展させる信念の強さ、過去の歴史と未来の国民への責任感だ。我々は<亡国の淵>から立ち上がったが今の人達は<繁栄の丘>から歩きだしたせいか歴史への自覚が浅い」と嘆きを込めて語っています。今日、予算委員会で小泉ジュニアが質問に立っていましたが、野田首相、岡田副総理に対して堂々の論戦を展開しておりました。彼は確かまだ30歳のはず。圧倒的な求心力、指導力を持ち合わせた政治家が見当たらない今大いに可能性を感じさせる人材の一人だと私は思います。政治家に求められる多くの資質、要件の中でも胆力とか度量とかは持って生まれたもの、彼はその大切なものを持ち合わせた希有な存在だと私は感じるのですが……？自民党のホープという評価を超えて日本のリーダーに育ててほしいと思うのは私だけでしょうか……？

幹事報告 前田豊太郎幹事

到着週報

鴨島RCより週報が、届いております。
脇町RCより週報が、届いております。
阿波池田RCより週報が、届いております。

到着書類

米山奨学会特別寄付金の訂正が、届いております。浪越様が、321,000になっております。
盛岡西北RCよりリーダー街灯設備支援のお願いが来ております。
松山東RC設立50周年記念記念日が、届いております。

連絡事項

ライラーセミナーの締め切りが、3/10に成っております。
ロータリー少年少女キャンプの締め切りも3/10に成っております。

委員会報告

親睦活動委員会 田中 義美

今月の誕生日 浪越 繁男君、廣川 公利君、横内 優君
今月の結婚記念日 宇山 裕士君、藤野 章二君(奥さん)、横内 優君

広報委員会 委員長 横内 優

(地区協議会登録申込)

会長(戸島 健治) 幹事 (横内 優) 会計 (三好 亘) クラブ奉仕 (伊良原 猛)

職業奉仕（長浦 保福）社会奉仕（浪越 繁男）国際奉仕（小田 教仁）
世界社会奉仕（小野 一史）新世代奉仕（矢野 太一）インターアクト（藤野 章二）
ローターアクト（なし）ロータリー財団（田中 義美）米山奨学（川田 勝義）
会員増強・維持・退会防止（青木 茂生）広報・IT（澤田 篤也）

会長エレクト 戸島 健治

次期会長研修セミナー（PETS）出席しました。

2012～2013 RI会長は、田中 作次（埼玉 八潮RC）。

日本人で3人目、30年ぶりのRI会長です。

テーマ「奉仕を通じて平和を」「Peace through Service」

2012～2013 2670地区ガバナーは、木村 大三郎氏（香川 高松西RC）。

地区のRC活動方針が、以下のように示されました。

- 1、RI会長に協力し盛り上げよう。
- 2、RC会員3%の増員を。
- 3、RCの公的イメージの向上を。
- 4、RCを通じて復興支援を。

ご協力をよろしく願いいたします。

プログラム委員会 西岡 香

本日の卓話は、七田 義貞君です。クラブフォーラム

（社会奉仕）

- ・ 社会奉仕についてロータリーアン全てが、個人、事業、社会生活に常に奉仕の理想を持つ事が求められている。時には他団体と連携しての活動もしていく事を考えていく必要があるだろう。
- ・ 社会奉仕活動で特に関心の高い項目として、環境保全、薬物乱用、アルコール過飲防止、高齢者への心遣い。
- ・ 社会奉仕に関する1992年の声明について
- ・ 社会奉仕は、ロータリーアン一人一人が「超我の奉仕」を実証する機会である。
- ・ 2月18日（ザ・ディスティ - ノ）徳島第1・第2分区合同の「 が開かれ、分科会のテーマ「社会奉仕の推進について」の説明

ニ コ ニ コ

宇山 裕土、藤野 章二、廣川 公利、横内 優、浪越 繁男

欠席者

千葉 正樹君、藤田 茂樹君、石井 正司君、美馬 眞澄君、小田 教仁君、野々村 隆君
森 廣一君、林 秀樹君、吉田 宥勝君、山内 浩司君、矢野 太一君、渡川 悟君、小野 一史君